

キリンビジネスシステム株式会社

RPAからの刷新により業務効率を改善、処理時間を約70%削減

業務システムの使用権限申請の受付から登録を自動化。「人のやる仕事をゼロに」を目指す

キリンビジネスシステム株式会社は、キリングループにおける資材調達・生産・物流・販売といったサプライチェーンを支える基幹システムの企画・開発・運用・保守を担っている。同社では、グループ各社から届く業務システムの使用権限申請をExcelファイルで受け取り、申請内容を担当者が確認し、不備があればメールで差し戻し、問題がなければRPAを用いて共通マスターシステムに登録していた。しかし、申請1件あたり約60分の手作業が必要で、RPAの動作制約やシナリオ再作成などの運用負担も課題となっていた。そこで、「ASTERIA Warp」を導入し、申請データの内容確認から不備連絡のメール生成・送信、共通マスターシステムへの権限登録までを自動化する仕組みを構築。その結果、1件あたりの処理時間を約60分から18分に短縮、さらに柔軟な連携処理の構築により、RPA運用面の業務負荷削減にも貢献した。

導入背景

- グループ各社からメールで届く使用権限申請には1件あたり約60分の手作業が必要で、申請が集中する月は約40件にものぼり、負担となっていた
- 申請内容のチェックはRPAでは自動化できず、不備がある場合は担当者が手作業でメールによる差し戻しを行っていた
- 申請内容の確認後、RPAで共通マスター システムへ登録していたが、社員IDごとに1件ずつ登録する必要があり、登録作業に時間を要していた。また、ブラウザ更新などに伴うシナリオ修正が頻繁に発生し、運用面の負荷が増大する懸念があった

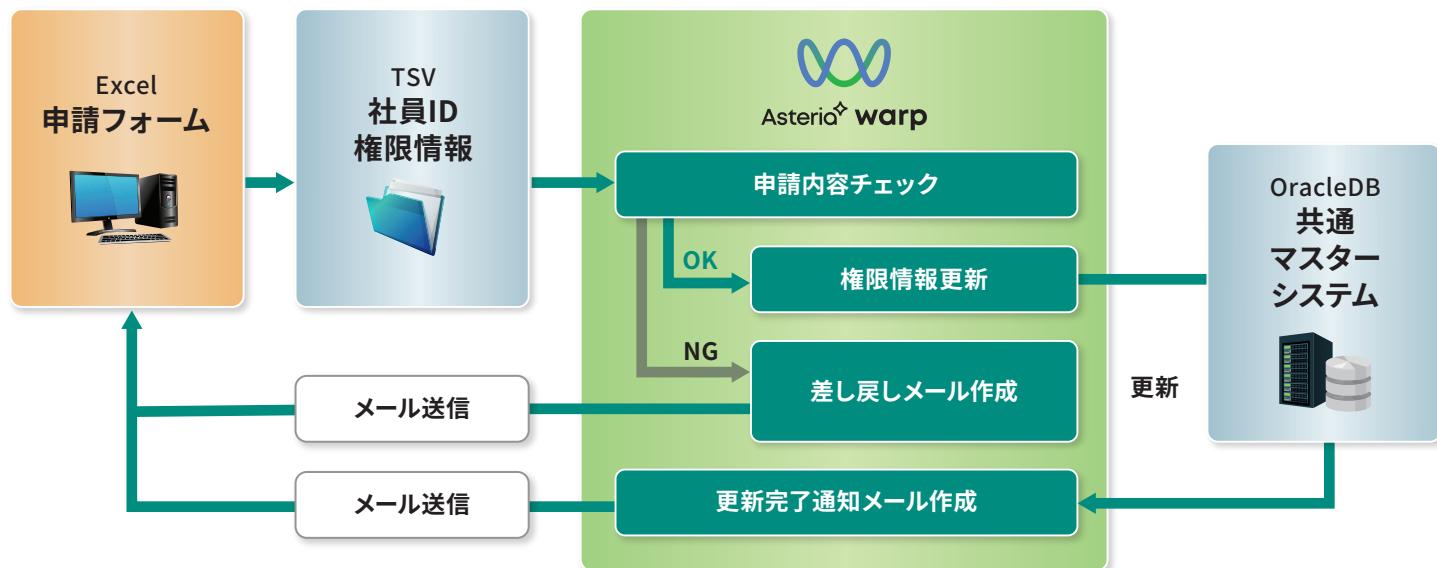
選定ポイント

- ノーコード開発による高い生産性と、多様な申請システムのニーズにも汎用的に対応できる柔軟性
- 内製開発を軸にDXを推進していく方針の中で、高度なスキルを必要とせず、誰でも容易に開発できる点を評価
- 画面操作に依存しないデータ連携型の仕組みであるため、PCやブラウザの変更による影響を受けにくく、高速かつ安定した処理が可能

効果

- 申請の受付から共通マスターシステムへの登録、完了通知までを自動化。1件あたりの処理時間を約60分から18分に短縮
- 申請内容に不備がある際の差し戻しメール送信を含め、申請業務全体の自動化と省力化を実現
- 共通処理をテンプレート化することで、今後新たに発生する連携ニーズにも迅速に横展開できる体制を整えた

システム概要



ユーザーのひと言



今回は、キリングループの業務システムにかかる社員IDに紐づく使用権限申請の受付業務を自動化しました。現在は別領域の権限申請を対象とした自動化プロジェクトを立ち上げ、対応を進めています。ASTERIA Warpはデータベースとのコネクションを作成するだけでテーブル情報などが自動的に反映されるほか、開発画面の色分け表示やコメント追加も可能で、効率的な開発を支援する機能が備わっています。今後は、開発者の育成も進めるとともに、「人のやる仕事を0に」というグループ共通の目標達成を目指しています。

基幹システム本部 基幹システム 第3統轄部 マスター・連携基盤グループ 米村 恵理菜 様

User Profile

よろこびがつなぐ世界へ


所 在 地：東京都中野区中野4-10-2

会 社 概 要：キリングループのサプライチェーンを支える基幹システムの企画・開発・運用・保守

業 種：情報通信業

U R L : <https://www.kirinbs.co.jp/>